

高校生議長がインドネシアでサミットを報告

「『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」で議長を務めた大方高校1年生の今井恋さんと今村琳花さんが昨年12月15日、インドネシアで開催された「世界津波の日2016 インドネシア」に出席しました。

両議長は、大西町長と和歌山県立日所高校1年生の中井充歩さんとともにサミットの報告を行い、「世界中の高校生と交流ができたことは大変意義深く、防災について深く考えるようになった」と写真を見せながら英語で話しました。最後には、サミットで採択された「黒潮宣言」も披露し、会場からは大きな拍手が起きました。また、来場者へ黒潮町の缶詰をプレゼントし、町長自ら黒潮町の防災対策をアピールしました。

最終日には、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震による大津波で壊滅的な被害を受けたアチェ州を訪れ、4万6718人の犠牲者が埋葬されているシロン墓地に花を手向けました。

今回の訪問で、黒潮町から缶詰が寄贈され、今後はアチェの避難タワーの備蓄倉庫に備蓄されます。



アチェ高校生徒らと歌いました



シロン墓地で祈る議長ら



バンダ・アチェ第1高校のみなさんと



現地の歓迎の様子



アチェの震災についてお話を聞きました



缶詰を配る町長

第6回黒潮ふれあい交歓会

大方ライオンズクラブ主催の「第6回黒潮ふれあい交歓会」が、1月13日(金)にふるさと総合センターで開催されました。

毎年恒例の集いとなった交歓会では、黒潮町内の各団体から代表者が集まり、異業種で働く者同士が交流をしました。会長の矢野博幸さんからは、「豊かさを次世代へと引き継ぐために、それぞれが連携をして黒潮町を盛り上げてほしい」と今回の開催に対する思いが述べられました。また、来賓を代表し挨拶を述べた大西町長は、昨年11月に開催された「『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」に触れ、町民への感謝の気持ちを表しました。

参加者たちは、「初めて参加したが、なかなか会うことのできる人などと話をして勉強したい」「人と人とのつながりが今後の活動のパワーとなる」など、それぞれが会食をしながら意見交換を行いました。



高知県いい歯の表彰

黒潮町在住の山崎茜さん・駿佑くん親子が昨年11月20日(日)、「高知県いい歯の表彰(親と子の部)」で最優秀である知事賞を受賞しました。山崎さん親子は、338組の親子の中から最終審査に残り今回の受賞となりました。

この表彰は、健康な歯を維持している人が対象となり、3歳児歯科健診で歯が健康と診断された人が推薦されます。その後県の最終審査を経て表彰者が決定されます。山崎さん親子は、「これからも歯磨きなどの良い習慣が身につくよう気をつけていきたいと思えます」と話しました。

熟年の部では、朝比奈喜世子さんに(財)8020推進財団理事長表彰として、表彰状と記念品が送られました。

歯と口の健康と全身の健康は切り離せません。一生自分の歯でおいしく食べ、明るく話し笑えることが重要となります。定期的に歯科を受診しましょう。

